

平成30年度 行政評価 施策カルテ

| | |
|-----|-------------|
| 施策名 | 2 観光資源の活用促進 |
|-----|-------------|

| | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 施策主管課 | 観光交流課 | 総合計画記載頁 | 134ページ |
|-------|-------|---------|--------|

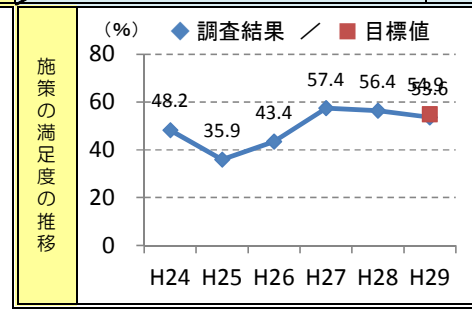
1 施策の位置付け

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----------------|-------------------|---------------------|---|
| 政策の柱 | IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために | 政策名 (基本施策名) | 20 魅力ある観光と交流を創出する | 政策の達成目標 (基本施策目標) | 新たな資源が発掘、活用され本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民も自らの地域に誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れ楽しんでもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。 |
|------|----------------------------------|----------------|-------------------|---------------------|---|

2 施策の取組状況

| | |
|------|--|
| 施策目標 | 人、産業、文化・スポーツなど、本市の優れた資源が観光に生かされ、本市の魅力が高まっています。 |
|------|--|

| ① 施策指標 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 (目標年) | 評価 | ② 市民意識調査結果 | 指標名(単位) | | H24 (現状値) | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 評価 | | | |
|----------|--------------|------------|--------|---------|--------|--------|--------|--------------|--------|--------------------|--|---------|--------------|-----------|---------|----------|---------|-------|--------|--------|--------|-------|
| | 指標1 | 年間入込客数(千人) | 単年度目標値 | 13,761 | 13,995 | 14,250 | 14,500 | 14,750 | | | 15,000 | A | 指標3 | 施策の満足度(%) | 調査結果 | 48.2% | 35.9% | 43.4% | | 57.4% | 56.4% | 53.6% |
| 現状値 | | | 13,531 | 実績値 | 13,145 | 13,752 | 14,170 | 14,701 | 14,830 | 14,989 | 目標値(H29) | | | | 54.9% | 前年度からの増減 | -12.3pt | 7.5pt | 14.0pt | -1.0pt | -2.8pt | |
| 目標値(H29) | | | 15,000 | 単年度の達成度 | 95.5% | 98.3% | 99.4% | 101.4% | 100.5% | 99.9% | ③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照) | | | | | | | B | | | | |
| 指標2 | 観光客入込客数/市民1人 | 単年度目標値 | / | | | | | | | 【参考】 中核市等との水準比較 | 中核市平均 | | 16.3 | 15.4 | 15.9 | 16.0 | 16.0 | 16.71 | / | | | |
| | | 実績値 | | | | | | | | | 26.34 | 24.73 | 25.45 | 26.53 | 27.25 | 28.21 | | | | | | |
| | | 中核市での本市の順位 | | | | | | | | | 4位/41市中 | 6位/41市中 | 4位/42市中 | 4位/43市中 | 4位/45市中 | 7/48市中 | | | | | | |
| 指標3 | 観光客入込客数/市民1人 | 単年度目標値 | / | | | | | | | 【参考】 中核市等との水準比較 | 中核市平均 | | / | | | | | / | | | | |
| | | 実績値 | | | | | | | | | / | | | | | | | | | | | |
| | | 中核市での本市の順位 | | | | | | | | | | | | | | | | | / | | | |



※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

| | |
|----------------------------------|---|
| ★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの) | $\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$ |
| ★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの) | $\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$ |

| | | | |
|-----------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| ① 施策指標 | A: 達成度90%超 [33点] | B: 達成度70%~90% [25点] | C: 達成度70%未満 [15点] |
| ② 市民意識調査結果(満足度) | A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点] | B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点] | C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点] |
| ③ 主要な構成事業の進捗状況 | A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点] | B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点] | C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点] |
| 総合評価 | 順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上] | 概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満] | やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満] |

| | |
|---------------------|--|
| 取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況 | |
|---------------------|--|

| | | | | | |
|------------|---|-------|--|------|------|
| 施策を取り巻く環境等 | <ul style="list-style-type: none"> 平成28年に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」の視点を定め、文化財や魅力ある施設などの活用による観光地の魅力向上を図ることが求められている。 国内外の多様なニーズに応えるため、地域内の関係者と連携しながらネットワークを構築し、地域の特性や資源を活用したテーマ別観光・ニューツーリズムの推進などにより、国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成が必要とされている。 宇都宮市観光動態調査による本市への観光入込客数は、プレデスティネーションキャンペーンの開催のほか、ろまんちっく村や大谷への観光客が増加したことなどにより、過去最多を更新した。 | 市民満足度 | <ul style="list-style-type: none"> 宇都宮らしさを持つ自然・歴史・文化・食といった豊富な観光資源の磨き上げによる本市知名度の向上及び地域の活性化への継続的な取組を行っているが、目標値には至らなかった。 | 総合評価 | 83点 |
| 施策指標 | 「餃子」「ジャズ」「カクテル」「大谷」に加え、文化、スポーツなど宇都宮の観光セールスポイントである観光資源を活用したイベントの開催や、市外在住者に対する効果的な観光宣伝事業に取り組んで来た事などにより、本市における年間入込客数は年々増加傾向となり、平成29年においては過去最高を更新した。 | | | | 概ね順調 |

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

| No. | 事業名 | 戦略P・主要事業※ | 事業の目的 | 事業内容 | | 事業の進捗状況 | H29事業費(千円) | 開始年度 | 日本一施策事業 | 施策目標を達成するための取組方針 |
|-----|----------------------------------|-----------|------------------------------|---|---|---------|------------|------|---------|--|
| | | | | 対象者・物(誰・何に) | 取組(何を) | | | | | |
| 1 | 広域観光宣伝事業(負担金) | ★ | ・広域観光事業の推進 | ・栃木県観光物産協会 ・栃木県国際観光推進協議会 ・本物の出会い栃木観光推進協議会 ・関東観光広域連携事業推進協議会 | ・各団体における広域的な連携による観光資源開発や宣伝PR事業に要する経費の一部を負担 | 計画どおり | 1,119 | H18 | | 近隣市町などとの連携を強化することで、更なる観光誘客が可能となることから、引き続き、県や関係団体と連携を図り、国内での観光キャラバンや商談会・旅行博への参加、海外からの旅行エージェンツの招聘、更にはデスティネーションキャンペーンの活用などにより、更なる誘客を促進していく。 |
| 2 | MotoGP活用事業(交付金) | | ・広域観光事業の推進 | MotoGPプレイベント実行委員会 | ・MotoGPプレイベントの開催 ・MotoGPを活用したPR | 計画どおり | 453 | H24 | | 世界各国から多くの選手や観客が来場する「MotoGP世界選手権シリーズ」を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図ることは重要であることから、引き続き、「MotoGPプレイベント実行委員会」を支援していく。 |
| 3 | 観光宣伝事業 | | ・多様な手段による観光情報の発信 | 首都圏等在住者 | ・観光宣伝用ポスター作製、掲出 ・観光パンフレット(るるぶ宇都宮)作製、配布 ほか | 計画どおり | 8,409 | S59 | | 市外の在住者などに対し、本市の観光情報を提供することで誘客促進を図る必要があることから、引き続き、駅やサービスエリア、パーキングエリアなどへの観光ポスター掲出や、旅行雑誌への観光情報の掲載、県外で「るるぶ宇都宮」を配布するなど、効果的な宣伝活動を実施していく。 |
| 4 | フェスタin大谷実行委員会事業(交付金) | ○★ | ・大谷観光の推進 | フェスタin大谷実行委員会 | ・フェスタin大谷の開催に係る費用の一部を交付 | 計画どおり | 3,000 | H13 | | 「石の里・大谷」を県内外に向けて広くPRし、更なる誘客促進を図る必要があることから、引き続き、官民連携を図りながら、フェスタin大谷を通じた大谷地域の活性化と観光振興に取り組んでいく。 |
| 5 | 大谷・多気地区美観事業(補助金) | | ・大谷地域観光の推進 | 城山地区総合開発推進協議会 | ・大谷・多気地区の美観維持に係る費用(岩肌のつた、雑草除去及び奇岩景観の保全)の一部を補助 | 計画どおり | 3,000 | H15 | | 大谷地域の観光を推進するため、大谷の魅力ある景観形成に引き続き取り組む。 |
| 6 | ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金 | | ・地域資源の活用促進 | ふるさと宮まつり開催委員会 | ・宮まつりの開催に係る費用の一部を補助 | 計画どおり | 11,100 | S51 | | 北関東最大規模の祭りであるふるさと宮まつりを通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図ることは重要であることから、引き続き、「ふるさと宮まつり開催委員会」を支援していく。 |
| 7 | うつのみや花火大会実行委員会補助金 | | ・地域資源の活用促進 | 特定非営利活動団体うつのみや百年花火 | ・うつのみや花火大会の開催に係る費用の一部を補助 | 計画どおり | 2,500 | H19 | | 全国に誇れる花火大会であるうつのみや花火大会を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図ることは重要であることから、引き続き、「うつのみや花火大会実行委員会」を支援していく。 |
| 8 | ジャズのまち活性化事業補助金 | | ・地域資源の活用促進 | ミヤ・ジャズ推進協議会 | ・イベントに係る費用の一部を交付 | 計画どおり | 1,000 | H22 | | 本市を代表する観光資源でもあるジャズにより知名度向上や中心市街地を活性化していく必要があることから、引き続き、「ミヤ・ジャズ推進協議会」を支援していく。 |
| 10 | 大谷地域周遊促進事業 | | 地域資源を活用した市内周遊の促進 | 本市来訪者 | ・シャトルバス(大谷⇄ろまんちっく村)の運行 ・バス乗車券に観光施設入場券等を付帯した企画乗車券を販売 | 計画どおり | 1,169 | H26 | | 本市を訪れた観光客に、様々な観光施設等を巡る周遊バスを利用してもらうことで、本市の魅力ある観光資源を体験してもらうとともに、民間事業者の取り組みである大谷観光一日乗車券などの企画乗車券も好評であることから、引き続き、バス事業者やタクシー事業者と連携を図りながら、2次交通への支援を強化していく。 |
| 11 | デスティネーションキャンペーン交付金等 | | 地域資源の活用促進 | 宇都宮市DC推進委員会 | ・事業実施に係る経費を補助 | 計画どおり | 4,000 | H28 | | デスティネーションキャンペーンを本市の魅力を上向きさせる絶好の機会と捉え、官民が連携しながら、観光資源を磨き上げ、それらの資源を効果的に活用し、周遊・宿泊促進や、プロモーション、おもてなしの更なる充実・強化を図る。 |
| 12 | ジャパンカップサイクルロードレースの開催(交付金) | ○★ | ・トップレベルのスポーツに触れる機会の創出及び誘客の促進 | ジャパンカップサイクルロードレース実行委員会 | ・ジャパンカップサイクルロードレースの開催に係る費用の一部を交付 | 計画どおり | 117,000 | H4 | トップクラス | これまで、安心安全な大会運営を行うとともに、有名選手を招聘や高質なレースを展開することで、アジア最高位のワンデイロードレースとしての地位を確立し、本市の交流人口の拡大や、地域経済の活性化、国内外へのブランド力向上を図ってきた。このようなことから、平成30年1月に改訂された競技規則に対応する選手数を確保するとともに、選手数の増加を契機に、狭隘化しているチームエリアの拡充や観戦環境の充実を図ることで、今後とも、アジア最高位のレースにふさわしい大会となるよう取り組んでいく。 |
| 13 | FIBA 3x3 ワールドツアー宇都宮マスターズの開催(交付金) | ○ | ・トップレベルのスポーツに触れる機会の創出及び誘客の促進 | 2017 FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 実行委員会 | ・宇都宮マスターズの開催に係る費用の一部を交付 | 計画どおり | 47,211 | H28 | トップクラス | これまで、日本で唯一の世界大会を開催するとともに、地元商店街等の協力のもと、市民が気軽に3x3を体験できるイベントを併せて実施し、本市の交流人口の拡大や、地域経済の活性化、国内外へのブランド力向上を図ってきた。今後は、マスターズ勝者が世界一の座を争うワールドツアーファイナルを開催できるよう誘致に取り組むとともに、市民と一体となって機運を盛り上げていけるよう、平成30年度の宇都宮マスターズ開催に取り組んでいく。 |
| 13 | プロスポーツ支援事業 | ★ | ・プロスポーツチームへの支援と連携 | ①本市を拠点に活動する3プロスポーツチーム ②市民・本市来訪者 | ①公式戦や練習等に関する活動環境への支援 ②ファン層拡大のための広報活動への支援 ③ホームゲーム開催に合わせた本市PRイベント「うつのみや愉快デー」の実施 | 計画どおり | 0 | H26 | | プロスポーツチームは、これまでのチームの活躍や、あいさつ運動・健康教室といった地域貢献活動を通じて、経済的、社会的、教育的効果を本市にもたらしており、優れた地域資源のひとつであることから、引き続き、各チームの方針や、課題等を把握しながら、適切な支援を行い、シビックプライドの醸成及び交流人口の拡大と地域経済の活性化に取り組んでいく。 |
| 14 | オリンピックキャンプ地誘致 | ★ | ・コンベンション等の誘致強化 | 各国競技団体や国際スポーツイベント主催者 | 国際的なスポーツイベントの開催時における集客・交流促進に向けた企画及びPR | 計画どおり | 0 | H26 | | これまでの栃木県と連携したキャンプ地誘致のほか、今後は、2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」開催を契機とする本市のレガシー創出に向け、「自転車のまち」や「3×3のまち」の更なる推進を図るとともに、このような本市にゆかりのあるスポーツについても、キャンプ地の誘致等に取り組んでいく。 |
| 15 | 宇都宮シクロクロスシリーズの開催(交付金) | | ・トップレベルのスポーツに触れる機会の創出及び誘客の促進 | 宇都宮サイクルスポーツ推進委員会 | シクロクロスの開催に係る費用の一部を交付 | 計画どおり | 9,681 | H27 | | 平成29年度に世界レベルを体感できるUCI公認レースを本市で初開催したことが観戦者数の増につながったことから、さらなる観光振興や誘客の促進につなげていくため、UCI公認レースの2日間開催に加え、一般参加型レースの開催や魅力的な付帯イベントを企画することで、シクロクロスの市民への浸透や競技の裾野拡大といったロードレースに続く新たなサイクルスポーツの魅力向上に取り組んでいく。 |

| | | | | | | | | | |
|----|--------------------|--------------------------|--|---|-------|--------|-----|--|--|
| 16 | 大谷特性活用支援事業 | ・大谷地域の特性を活用した産業の創出 | ・市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP ・国内の高等教育機関、又は当該高等教育機関に所属する教職員を代表とする研究グループ | 大谷地域の貴重な地域資源を活用した新たな地域産業等の創出や、地域資源について学術的視点から調査研究を行う取組に係る経費の一部を補助 | 計画どおり | 292 | H23 | | 平成29年度より、大谷地域の特性や地域資源の有効活用に関する調査研究活動も新たに支援対象とし、地域産業の創出に資するこれらの取組に関する機運が醸成されてきたところであり、これらの動きを促進するため引き続き支援を行っていく。 |
| 17 | 大谷石利用促進事業補助金 | ・大谷石需要の拡大及び大谷石産業の振興 | ・市内で新築・増改築を行う際、内外装の材料として、大谷石を活用する建 | 市内で居宅・店舗等の内外装等の材料として、大谷石を利用した者への経費の一部を補助 | 計画どおり | 4,118 | H22 | | 大谷石のブランド力向上による大谷石需要の拡大及び大谷石産業の活性化を図るため、引き続き、居宅・店舗等の内外装材として大谷石を利用する際の支援を行っていく。 |
| 18 | 大谷地域資源活用事業 | ・冷熱エネルギーを活用した、大谷地域の振興 | ・市内外の企業、地域住民 | 大谷地域の各エリアにおける冷熱エネルギーの活用方を整理するとともに、冷熱利用の本格化に向けた民間の取組を支援 | 計画どおり | 10,962 | H24 | | 夏秋いちご栽培の栽培面積・生産量の拡大に向けて関係機関と連携した企業誘致や研修環境の整備を促進させるとともに、冷熱エネルギーを持続かつ安全に活用・管理する仕組みの構築に向け、熱供給事業が始動する駒生地区において利用状況等にかかるモニタリング調査を実施する。 |
| 19 | (公財)大谷地域整備公社運営費補助金 | ・大谷石採取場跡地等の安全対策事業の総合的な推進 | ・(公財)大谷地域整備公社 | 民生の安定に向けた大谷地域の安全対策に係る事業運営費の一部を補助 | 計画どおり | 33,230 | H2 | | 大谷地域の安全対策の推進及び市民生活の安定を図るため、(公財)大谷地域整備公社による観測システム等を着実に運用するなど、必要な安全対策を講じていく。 |

4 今後の施策の取組方針

| 今後の方向性 | |
|--|--|
| 課題 | 方向性 |
| <p>◆観光客のニーズの多様化に対応するため、本市の地域性を生かしつつ、既存の観光資源に、歴史や文化・産業・スポーツ・農業等の観光資源を組み合わせた新たなニューツーリズムの創出が求められている。</p> <p>◆本市の多彩な観光資源を活用した着地型観光の充実や県内外を含めた広域連携による新たな周遊ルートの開発などにより、観光客のニーズに合わせた魅力ある観光を提供し、誘客促進に取り組む必要がある。</p> <p>◆近年増加傾向にある訪日外国人旅行者に対応するため、本市の多彩な観光資源に歴史・文化・伝統・食などの資源を組み合わせた訴求力の高い観光資源の発掘を行う必要がある。</p> | <p>〈施策全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光関係事業者と連携を図り本市の観光資源の磨き上げを行うとともに、それらを活用したツアー催行など、本市の魅力向上を図る。 ◆観光資源の活用促進や体験型・産業観光の推進、グリーンツーリズムをはじめとするニューツーリズムの促進、広域連携による周遊ルートの開発など、観光客のニーズに対応した事業展開を行っていく。 ◆日本遺産の認定を受けた大谷石文化を活用し、大谷地域の拠点性向上、観光振興を図る。 ◆自転車をはじめとするスポーツや大谷など、魅力ある地域資源を活かした観光誘客に資する新たな取組について、民間事業者と連携しながら実施する。 <p>〈主要事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆フェスタin大谷実行委員会事業 フェスタin大谷の開催・運営を協力・支援することにより、大谷地域の活性化を促すとともに、本市の重要な観光地である大谷の魅力県内外にPRし、観光誘客を図る。 ◆ジャパンカップサイクルロードレース 競技規則に沿った選手数を確保することで更に迫力あるレースを提供するとともに、安心安全な観戦環境の充実に取り組むことで、更なる誘客促進を図る。 ◆FIBA 3x3 ワールドツアー宇都宮マスターズ ワールドツアーファイナルの誘致に取り組むとともに、ファイナルに向けた市民の機運を盛り上げていけるよう、平成30年度の宇都宮マスターズに取り組むことで、更なる交流人口の拡大や本市ブランド力の向上を図る。 <p>〈その他個別事業〉</p> |